

出題分析		
試験時間 60 分	配点 100 点	大問数 4 題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化]
<p>【概評】</p> <p>例年通り、全 50 問の選択問題。大問 4 題構成のうち、〔Ⅰ〕・〔Ⅱ〕・〔Ⅳ〕が語群選択式、〔Ⅲ〕が三者択一式であった。〔Ⅰ〕では近現代の労働・環境問題史、〔Ⅱ〕では飛鳥～鎌倉時代の文化史、〔Ⅲ〕では 3 つの史料から中世・近世の政治・対外関係史、〔Ⅳ〕では旧石器時代～古墳時代の遺跡・古墳をテーマにそれぞれに関連する事項が問われた。また、〔Ⅳ〕では関西大学入試日本史で定番の地図から地点を選ぶ問題が今年も出題された。</p> <p>用語集で示されている掲載頻度が低い歴史用語を問う問題などが一部にみられ、特に〔Ⅳ〕が昨年に比べて難しかったため難化とした。基本的事項を問う問題での失点は許されず、細かい知識を要する問題でどれだけ得点できたかが出来を左右しただろう。</p>		

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
〔Ⅰ〕	近現代の労働・環境問題史	(2). やや難。高島炭鉱事件を想起できたかどうか。(6). 労働三法のうち労働関係調整法は 1946 年、労働基準法は 1947 年に制定された。(10). 京都で開かれた会議で京都議定書が採択され、これを引き継ぐ形で 2015 年に地球的規模の温暖化対策を定めるパリ協定が採択された。	標準
〔Ⅱ〕	飛鳥～鎌倉時代の文化史	(A) 飛鳥～奈良時代の文化、(B) 平安時代の文化、(C) 鎌倉時代の文化について問われた。文化史の学習が不十分であれば迷いの生じる問題もあったが、大半は基本～標準レベルの事柄が問われていた。高得点を目指したい。(2). やや難。消去法でもなかなか難しいだろう。語群中塑像は新薬師寺十二神将像のみである。(5). やや細かい。六歌仙はほかに在原業平、喜撰、文屋康秀、大伴黒主。(9). 頻出。(10). 中世の刀工を場所と合わせて覚えておく必要があった。	標準

設問別講評			
〔Ⅲ〕	中世・近世の政治・ 対外関係史	<p>昨年に引き続き 3 つの史料から出題された。(A) 『蔭涼軒日録』より加賀の一向一揆, (B) 『御触書寛保集成』より武家諸法度 (寛永令), (C) 『続徳川実紀』より五品江戸廻送令に関連して出題された。問 1. 難。問 4. (イ) の長野, (ウ) の山田はともに門前町。問 5. 史料最後の一文からもわかる。問 7. 旧暦の「夏」は 4～6 月。問 8. (ア) の栗橋は奥州・日光道中, (ウ) の小仏は甲州道中の関所。問 10. (ア) : 1637 年, (イ) : 1624 年, (ウ) : 1633 年。問 12. 難。(ア) を選んだ受験生も多いだろう。問 15. 江戸から開港地へ送るのを禁じたのではなく, 生産地からの直送を禁じて商品流通の統制を図った。</p>	やや難
〔Ⅳ〕	旧石器時代～古墳時 代の遺跡・古墳	<p>(A) 旧石器時代, (B) 縄文時代, (C) 弥生時代, (D) 古墳時代前期, (E) 古墳時代中～後期の遺跡・古墳についてリード文が示され, 詳しい内容が問われた。(1). 細かい知識が問われた。(7). (10). 難。神原神社古墳・今城塚古墳ともになじみが薄い。地図上の場所についても細かい知識が問われた。(A) の国府遺跡はなじみが薄い, リード文中の「河内国府」が見つけられれば大阪府と特定できた。(D) の黒塚古墳は奈良県, (E) の太田天神山古墳は群馬県に所在する。</p>	難

合格のための学習法

設問の多くは教科書掲載の基本事項で構成されているが, 一部で細かい事項が問われるため, 丁寧な学習が必要である。時代・テーマに偏ることなく, 教科書本文に書かれている事項はもちろん, 図表や脚注などにも注意して学習しておきたい。用語集で頻出語句として赤字で示されている語句については, 特にその説明にも注意してほしい。史料問題では, 過去問演習を通じて傾向を掴みつつ知識を深め, 問題慣れもしながら学力向上に努めよう。苦手とする受験生が多い文化史についても, 日頃より美術・文芸・教育など, 図説資料集等を用いて視覚資料と合わせて幅広く学習しよう。